



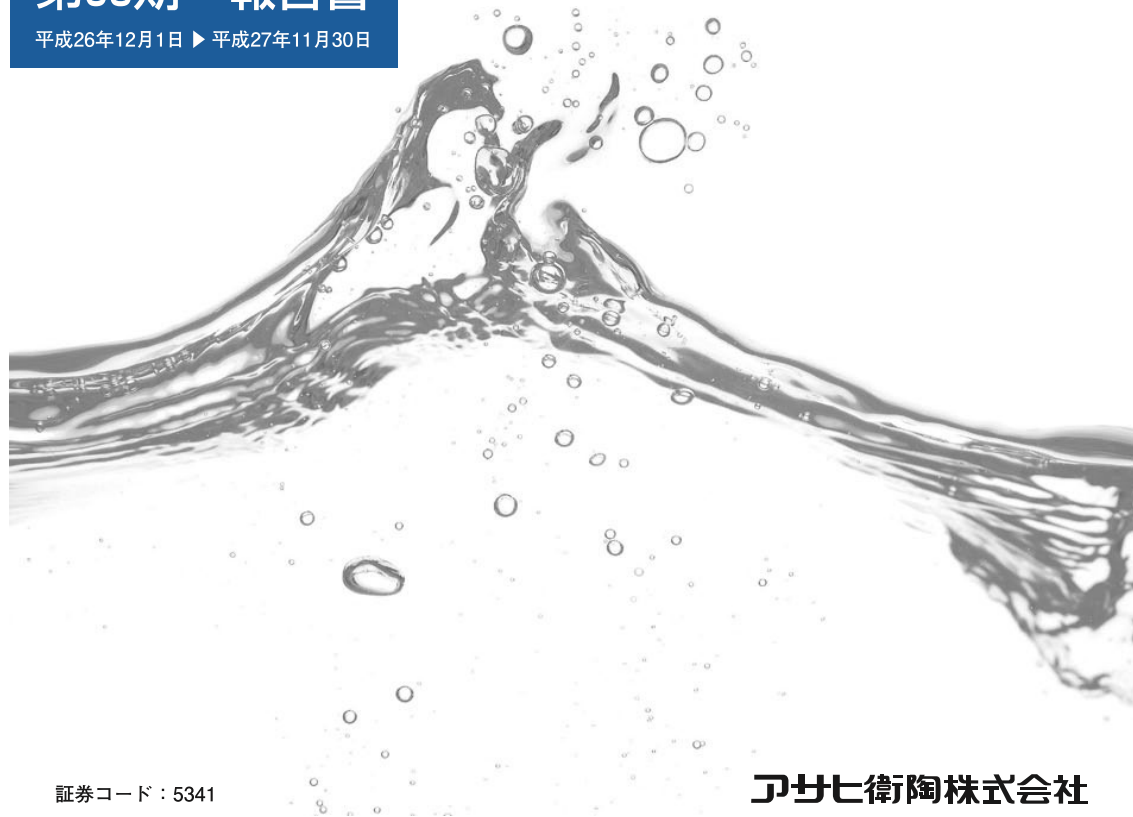
株式のご案内

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月中
基準日	定時株主総会については毎年11月30日 といたします。 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めます。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (フリーダイヤル) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
	※証券会社に口座をお持ちの場合は、お取引の証券会社へお問い合わせください。
公告方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告ができない場合は、日本 経済新聞に掲載
(ホームページアドレス)	http://www.asahieito.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第二部)



第65期 報告書

平成26年12月1日 ▶ 平成27年11月30日



証券コード：5341

アサヒ衛陶株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長

町元 存二



社 訓

誠實と明朗 技術と精進 親和と共栄

基本スローガン

社会に役立つ企業づくり

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第65期（平成26年12月1日から平成27年11月30日まで）報告書をお届けするにあたり、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年2月

事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油安や各国の経済政策の効果により、平成26年4月に実施された消費税増税による景気の減速から緩やかに回復しており、個人消費や雇用情勢が改善傾向にあることから、企業収益にも持ち直しの動きが見えております。

しかしながら、中国経済の下振れ懸念や国内株価の乱高下等による国内消費の落ち込みによる景気腰折れ懸念などにより経済への悪影響が生じる恐れがあるなど、全面的に回復局面にあるとは言えない状況であります。

当社グループに関連の深い住宅関連業界におきましても、住宅建設の業況がおおむね横ばいとなっており、またリフォーム市場の景況感が一進一退の様相を見せるなど、依然として不透明な状況が続いておりますが、今後につきましては、リフォーム市場や高齢者向けの住居建設などが比較的堅調に推移することが期待されます。また、次の消費税増税を意識した変化も見られ始めております。

このような経済環境の中、当社グループは継続的な成長を見込んでおります介護分野やリフォーム分野での営業強化、インバウンド需要の取り込み、海外市場における新規販路拡大などの販売強化を進めるとも

に、商品・材料の仕入コスト削減などに取組むことで、経営基盤の強化、売上拡大および収益構造の改善に努めてまいりました。

その結果、ケアシス（福祉介護向け商品）事業やベトナムを中心とした海外事業が前期を上回る成果を挙げることができました。しかし、消費税増税の反動減が想定以上に長引いたこと及び東日本を中心としたホームセンター販売チャンネルにおいて競合他社との価格競争が激化したことによる売上減少、また前期後半に与信管理強化を行った影響による売上減少のリカバーが追いつかなかつたことや、急激な円安による仕入コスト上昇の影響を受けたこと、加えて繰延税金資産を取り崩したことにより、業績は前年を大幅に下回ることとなりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,832百万円（前期比△12.5%）、営業損失は116百万円（前期は38百万円の営業利益）、経常損失は114百万円（前期は47百万円の経常利益）、当期純損失は136百万円（前期は35百万円の当期純利益）となりました。

設備投資および資金調達の状況

当連結会計年度において実施いたしました設備投資は、金型が主なもので、その総額は39百万円でありま

す。資金調達の状況につきましては、当連結会計年度において当社グループの所要資金として、金融機関より長期借入金として350百万円の調達を行いました。

対処すべき課題

当社グループに関連の深い住宅関連業界におきましては、住宅建設の業況がおおむね横ばいとなっており、

またリフォーム市場の景況感が一進一退の様相を見せるなど、依然として不透明な状況が続いておりますが、今後につきましては、リフォーム市場や高齢者向けの住居建設などが比較的堅調に推移することが期待されます。また、次の消費税増税を意識した変化も見られ始めており、当社グループは、引き続き経営基盤の強化及び収益構造の改善を最重要課題として掲げ、下記のような施策に全社を挙げて取り組んでまいります。

① 収益性の改善施策：

- ・グローバル調達の見直しによるコスト削減。
- ・仕入商品の設計変更などによる仕入価格のコスト削減。
- ・品質チェック機能強化による品質管理のコスト削減。
- ・高利益商品の重点販売による売上総利益率の改善。
- ・停滞品在庫の削減による収益の改善。

② 財務体質の改善施策：

- ・停滞品在庫の削減など適切な在庫処置、および保有資産（有価証券）の流動化を図れたことにより、バランスシートの健全化を推進しております。

③ 販売強化施策：

- ・福祉介護向け商品、省エネ分野向け商品（節電・節水）の開発推進と販路拡大。
- ・インバウンド向け食材、洗面台フォトドレッサー、賃貸住宅向けのキッチン等新商品の販売促進による新たな収益源・販路の確保。
- ・ベトナムを中心とした海外市場における新規販路開拓、提案素材の拡充、ブランド価値向上への取組強化。
- ・インターネットを活用した販売促進による営業強化。

連結貸借対照表

科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成27年11月30日現在)	前 期 (平成26年11月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,597,378	1,553,216
現金及び預金	588,616	528,719
受取手形及び売掛金	563,019	595,835
商品及び製品	324,877	298,369
前 渡 金	72,233	55,807
繰延税金資産	21,740	36,692
そ の 他	27,294	37,992
貸倒引当金	△ 403	△ 200
固定資産	641,065	661,257
有形固定資産	490,346	482,681
建 物	124,431	133,108
構 築 物	7,061	7,569
機 械 及 び 装 置	14,742	10,001
車輛・工具器具及び備品	32,471	14,695
土 地	297,376	297,376
リ ー ス 資 産	14,262	7,557
建 設 仮 勘 定	—	12,373
無形固定資産	34,305	42,253
ソフトウェア	30,718	38,666
そ の 他	3,586	3,586
投資その他の資産	116,413	136,322
投資有価証券	19,308	42,026
投資不動産	75,824	78,341
出 資 金	50	50
差 入 保 証 金	17,113	12,033
団体生命保険金	4,113	2,909
そ の 他	4	1,010
貸倒引当金	—	△ 48
資 産 合 計	2,238,443	2,214,474

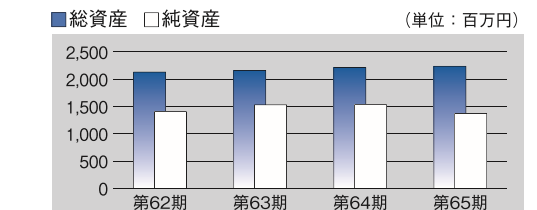
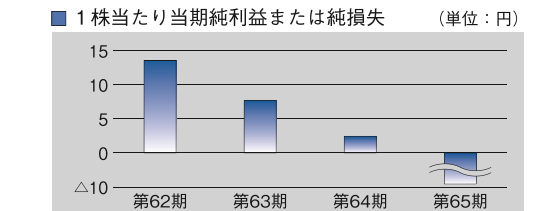
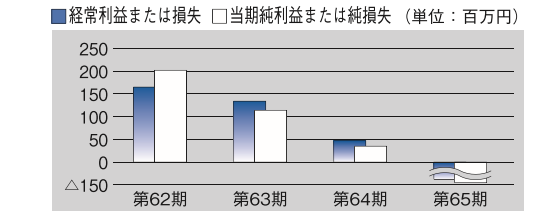
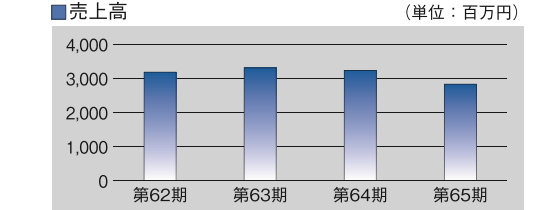
科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成27年11月30日現在)	前 期 (平成26年11月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	366,587	327,400
支払手形及び買掛金	62,175	70,146
1年内返済予定の長期借入金	191,062	128,971
未 払 金	62,138	59,641
未 払 法 人 税 等	4,241	4,446
未 払 消 費 税 等	2,655	18,126
未 払 費 用	30,811	30,783
賞 与 引 当 金	3,950	3,930
そ の 他	9,552	11,354
固定負債	498,166	351,177
長 期 借 入 金	370,491	235,165
繰延税金負債	2,812	2,612
退職給付に係る負債	48,861	53,590
役員退職慰労引当金	21,502	16,789
株式給付引当金	8,318	—
預り営業保証金	33,561	36,491
そ の 他	12,619	6,529
負債合計	864,753	678,577
(純資産の部)		
株 主 資 本	1,365,811	1,502,626
資 本 金	1,403,250	1,403,250
利 益 剰 余 金	3,679	140,311
自 己 株 式	△ 41,117	△ 40,935
その他の包括利益累計額	7,877	33,269
その他有価証券評価差額金	6,498	21,419
繰延ヘッジ損益	2,698	13,447
為替換算調整勘定	△ 1,319	△ 1,597
純 資 産 合 計	1,373,689	1,535,896
負債及び純資産合計	2,238,443	2,214,474

連結損益計算書

科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成26年12月1日から 平成27年11月30日まで)	前 期 (平成25年12月1日から 平成26年11月30日まで)
売上高	2,832,292	3,237,496
売上原価	1,826,809	2,079,421
売上総利益	1,005,482	1,158,074
販売費及び一般管理費	1,121,960	1,119,514
営業利益または営業損失(△)	△ 116,477	38,560
営業外収益		
受取利息・受取配当金	458	869
そ の 他	19,116	24,695
営業外費用		
支払利息	4,007	4,487
そ の 他	13,528	11,990
経常利益または経常損失(△)	△ 114,439	47,647
特別利益		
投資有価証券売却益	6,936	6,816
特別損失		
固定資産除却損	6	1,222
税金等調整前当期純利益 または純損失(△)	△ 107,508	53,241
法人税、住民税及び事業税	8,000	13,200
法人税等調整額	21,124	4,501
少数株主損益調整前 当期純利益または純損失(△)	△ 136,632	35,540
当期純利益または純損失(△)	△ 136,632	35,540

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位：千円)	
	当 期 (平成26年12月1日から 平成27年11月30日まで)	前 期 (平成25年12月1日から 平成26年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 107,908	49,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,394	△ 11,229
財務活動によるキャッシュ・フロー	194,230	7,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,969	11,171
現金及び現金同等物の増加額	59,896	56,421
現金及び現金同等物の期首残高	528,719	472,298
現金及び現金同等物の期末残高	588,616	528,719



(注) 第62期は単体のデータとなっております。

会社の概要 (平成27年11月30日現在)

商号 アサヒ衛陶株式会社
 英文社名 ASAHI EITO CO., LTD.
 創業 享保年間
 設立年月日 昭和25年12月20日
 本店所在地 堺市美原区小平尾451番地
 資本金 14億325万円
 営業品目 衛生機器 (衛生陶器・附属器具・水洗便器セット・その他関連機器)
 洗面機器 (洗面化粧台・化粧鏡・天板・その他関連機器)

従業員の状況

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
82名	40.2歳	9.9年

事業所所在地

本社 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5235
 東京支店 〒115-0056 東京都北区西が丘1-21-1 ☎03-3900-2665
 大阪支店 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5234
 九州支店 〒841-0042 佐賀県鳥栖市酒井西町640-1 ☎0942-83-3344
 仙台営業所 〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通29 ☎022-287-8031
 松山営業所 〒790-0063 愛媛県松山市辻町11-27 ☎089-922-6646

役員 (平成28年2月26日現在)

代表取締役社長 町元孝二
 取締役 上野泰志
 取締役 越野秀司
 取締役 景山好庸
 ※取締役 中光弘
 ※取締役 井関新吾

(注) 1. 当社は平成28年2月26日付にて監査等委員会設置会社に移行しました。
 2. 取締役のうち景山好庸、中光弘、井関新吾の3氏は監査等委員である取締役 (うち※印の取締役は社外取締役) であります。

会計監査人

OAG監査法人

株式の状況 (平成27年11月30日現在)

株式事項

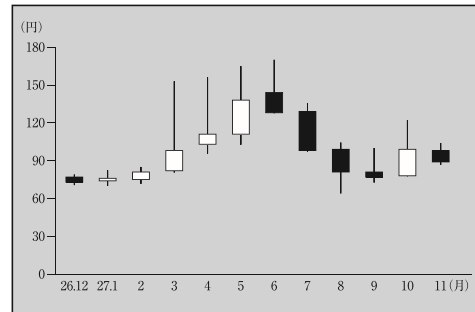
株式総数および株主数の状況は次のとおりであります。
 発行可能株式総数 48,000千株
 発行済株式の総数 14,940千株
 株主数 1,908名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
アサヒ衛陶取引先持株会	727千株	4.87%
日本証券金融株式会社	534	3.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75644口)	462	3.10
双日プラネット株式会社	449	3.01
株式会社SBI証券	399	2.67
丹司英子	384	2.57
阿部五美	353	2.37
クレディスイスアーゲー チューリッヒレジデントトウキョウ	304	2.04
町元孝二	240	1.61
戸田佳男	210	1.41

(注) 持株比率は自己株式 (15,471株) を控除して計算しております。

株価の推移 (東京証券取引所)



トピックス

中国国内対応 温水洗浄便座 新発売

中国国内の電圧220Vに対応する温水洗浄便座サンウォッシュDAを新発売しました。専門商社との提携で中国国内での販売とメンテナンスに対応します。さらに中国語のウェブサイトやSNSも開始し、中国向けPRも強化しました。



写真付洗面化粧台「フォトドレッサー」を新発売

ペット、絵画など好みの写真で引き出しや扉をデザインできる洗面化粧台が新登場。“自分だけの水廻り空間”を創造します。実用新案も取得済みです。人気シリーズのシャイニービュレア、レスタ、Kシリーズをラインナップしました。



家具調コンパクトキッチン BAUM (バウム) を新発売

バウムとはドイツ語で「木」「樹木」の意味で、木目の美しさを強調したおしゃれなキッチンです。全体をよりシャープに四角いデザインにするため細部にこだわりました。また普及クラスの「Sシリーズ」も発売します。



人工大理石 ベトナム新工場で生産開始

主に洗面化粧台に使う人工大理石カウンターを日本向けに生産します。ポリエステル樹脂を使い、一部商品は生産コスト最大40%ダウンが可能となりました。新商品として車椅子対応洗面台のカウンターに御影石調のカラーバリエーションが加わります。

